

ウィズ ～ともに～

WITH



発行：社会福祉法人 くまもと障害者労働センター 〒861-8039 熊本市東区長嶺南 1-5-4 0
TEL：096-382-0861 FAX：096-285-7755 <http://1985orange.com>



🍊 ヤマト福祉財団のパワーアップフォーラム
カメラ5台と機材がすごくて、
もぉど緊張!!

🍊 熊本学園大学での寄付講座。
代表の倉田さん、宮本さんに、
そして、スペシャルゲストの山本さん

おれんじ村の活動を、いろんなところで報告させてもらってます。

ヤマト福祉財団の『障がい者の働く場パワーアップフォーラム』、熊本学園大学社会福祉学部の『当事者・実践者による寄付講座～しょうがいのある人と支援者の日常の暮らしと～』で、おれんじ村の理念に基づいた障害のある人とない人の日常の『ともに働き、ともに暮らす』取り組みを報告させていただきました。

おれんじ村の目指す『ともに働く』は、福祉制度にみられる職員と利用者という縦の関係ではなく、同じ働くなかまとして対等な関係をきずくこと。そのため能力主義を否定し、働くみんなで話し合い合意形成を図りながら、事業展開を進める日々の実践を報告。

『ともに暮らす』実践として、倉田さんの運転免許取得（両手に障害があるが両足を使って免許取得へのチャレンジ）、宮本夫妻の子育て（重度障害者の両親による子育てと、宮本家を応援するボラ

ンティアの子育て奮闘記）、山本さんの大学生活と24時間介護獲得（医療的なケアが必要でも大学で学び、地域で暮らす取り組み）など、本人から直接報告しました。多くの人に知ってもらうことができました。

報告を聞いて、おれんじ村に興味を持っていただき、県外からも見学にきていただいたりと、おれんじ村の活動がひろがっています。

今後、もっともっとおれんじ村の活動を広げられるように、みんなでがんばっていきたいと思います。報告の機会をいただき、ありがとうございました。



🍊 ハイジ福祉会さんの
ガーベラの寄せ植え
とっても素敵でした!!

実習生 ことしの夏もおれんじ村に 実習生がやってきた!!



熊本学園大学 山本 葉奈

この度、くまもと障害者労働センターで 4 週間実習をさせていただきました。熊本学園大学第二部社会福祉学科 3 年の山本葉奈です。

まず、この実習を無事終了できたこと、そして、国家試験を受験するにあたって必要な項目を全てクリアすることができ、ホッとしております。それは、くまもと障害者労働センターの皆様をはじめとする実習応援員さん、そして徳田さんに出会えてたくさんのサポートをしていただけたからだと思っています。

実習では、たくさんのメンバーさんからお話を伺うことができました。メンバーさんの毎朝「おはよう、今日もお湯沸かしておいたよ。」という声掛けで 1 日がスタートし、清々しい朝を迎えることができました。メンバーさんの経験談を聞く中で、たくさんの気づきがありました。

まず一つは、自分を自分らしく表現できたらいいんだ、ということです。おれんじ村の人と何かを一緒にできたらいいなと思って考えている自分がいて、「それを自分で楽しんだらいい。」という言葉ももらって、少し落ち込んだこともありましたが、その中で、自分の輝き方を見つけることができたらと感じさせてもらえる言葉でした。たくさんの経験をされてきたメンバーさんからたくさんの刺激をいただき、私はこれからも地域の中で暮らし続け、一人の女性として

生きていきたい。と思うことができるようになりました。私自身、車椅子ユーザーなこともあり、中々厨房の方などとは関わることが少なかったですが、皆さんが作ってくださったお弁当に、メッセージ付きのシールを貼る作業を経験させていただきました。たくさん思いのこもったメッセージを見て、「今日も、明日も笑えるように!」と励まされていました。作業する上で、懐メロを皆さんで聞いてそれも一つの楽しみでした。そして、私を支えてくださっている看護師さんやヘルパーさんからたくさんの注文をいただき、自分の職場のように嬉しく、そして「ありがとう」と言ってもらえること。この言葉って素敵だなと思いました。



私は、また来年もくまもと障害者労働センターで同じ期間、お世話になりますが、もっともっとパワフルで笑顔溢れる挨拶で皆さんと朝からお会いできるよう、毎日元気でいます!

おれんじ村に実習に行けて、たくさんの出会いがあったこと、そして、私の応援団がまた増えたこと。皆さんに感謝です!! おれんじ村最高!!!!

熊本学園大学 徳田 月菜

24日間の実習はとても楽しくてあっという間だった。初日はとても不安で皆と何を話せばいいのかからなかった。しかし話していると質問に答えてくださったり、自分の話をたくさんしてくださったりして、コミュニケーションを取ることに徐々に慣れていった。

皆と色々な部門で作業させていただく中で思ったことは、メンバーとスタッフが楽しく働いているということである。私もバイトをしているが、働く中で最も重要なことは人間関係だと思っている。感謝やごめんなさい、ほめるなど一人一人が大切にしているのを感じた。そして一人一人がやるべきこと、得意とすることがあってそれを誇りに思っていると感じた。

当事者や福祉関係者から話を伺ったときは、私は障害者に対して差別している側の人間だということに気づかされ、新しい考え方を学ぶことができた。私は障害を持っていると行きたいところに行けない、好きなことができないものだと思っていた。しかし好きなアイドルのLIVEに行く方や付き添いの方と旅行に行く方も多く、体に不自由なところがあるからできないと決めつけてはいけないことを学んだ。また、一人暮らししているメンバー、家族を築いているメンバーがたくさんいて驚いた。ある方はできないことは頼る(頼めばヘルパーさんがしてくれることも)できることは自分でするという強い心を持っていて、私の自立していきなさを助けることに恥ずかしく感じ

るほどだった。

実習中で一番大変だと感じたことは個別支援計画の作成・発表であった。たくさんお聞きしたことをどう計画に移せばいいのか、情報量が増えるごとにぐちゃぐちゃしてきたり、どうやったらうまく皆に伝えるのかを考えたりするのが難しかった。発表の後、スタッフの方々がたくさんアドバイスやお褒めの言葉を下さってとてもうれしかった。

おれんじ村は皆ができることを全うし、強みを活かしていると思う。その一つ一つは小さくとも価値があると感じた。メンバーの中には、前働いていたところは働くだけの場だったのに対し、おれんじ村は働いた後もみんなと話してゆっくりできたり、コロナ前はカラオケに行ったりしてそういうことがしたかったからおれんじ村に来たのだということを知った。このことからメンバーもスタッフも対等な関係であり、自由で居心地が良いからだなと納得した。

皆とたくさん話すことができて楽しかった。私のことを友達や娘と思ってくださったり、私が話した内容を覚えてくださっていたりしたこと、最初はあまり話してくれなかった方が話しかけてくださったこと、とてもうれしかった。毎日違う実習内容でたくさんの方を経験させてくださって、たくさんの方々と出会えて実りある実習期間だった。夏休みに実習なんてやっていけないと最初は弱気だったが、誰よりも楽しめた自信がある。迷惑もたくさんかけたがメンバーもスタッフも皆優しく良い職場だと感じた。おれんじ村の職員のような関わり方が将来できるようになりたい。

おれんじ村通信を毎週

近隣へポスティングしています!!

祝・おれんじ村通信は、まる1周年



おれんじ村では、近隣の人にもっともっと知ってもらおうと、販売部・製造部・弁当部・事務IT部・準備部・かふえ部で交代しながら、日頃のできごとなどを書いてもらい、近隣へポスティングに行っています。

今日は、かずよんと近隣へポスティング📧
車椅子でも、ばりばりポスティング!!!!!!



🍊 普段のポスティング

座面が昇降するハイテク電動車椅子📺
高いところも、この通り
楽チンにポスティング📧のはずが
手が、👉届かずう残念🙄🙄🙄



🍊 ちょっと高いポストは、
座面が上昇↑↑して、こんな感じ



🍊 あらまあ。届かない!!

🍊 創刊号から、これまでのおれ通。
IT部Eの厳選おすすめ12作となっています。

こんにちは。朝晩だいぶ涼しくなりましたね。おれんじ村の村民も講演に呼ばれたり、活動の場をみんな広げています。みんなの体験した事を、もっともっとと広めて欲しいと思います。
山本葉奈さん徳田月菜さん2人の大学生がおれんじ村に自習に来られ、おれんじ村でしか体験できない事を、たくさん体験されたかと思えます。この経験を大学を卒業してからの人生に活かして欲しいと思います。
冬と言えば師走。ますます寒くなりますが、コロナ・インフルエンザにかからないように注意しましょう。そろそろお歳暮の時期となりました。お世話になった方へ、1年間の感謝を込めて、おれんじ村のお歳暮ギフトはいかがでしょう。注文お待ちしております。

IT部E

編集後記